

レッツゴー通信 せぬま 剛 友情に感謝

平成30年5月 日本の安定に台湾との友交は欠かせない。

台湾に行ってきた

足立区日台交友促進議員連盟

会長せぬま剛と十名の議員団

台北市議会、大安区出身市議五人と面談、交流について話合う。

国民党二人民進党二人無所属一人の構成で、大歓迎してくれた。市議の権限で区の財政が決まるので重要なメンバー達ではある。足立区は世界遺産日光への入口であり、日光街道の宿場町だと説明すると大変興味を示して、どういふ町だと何度も聞いてきた。



台北市議会訪問

市議の一人は二〇二〇東京オリンピックに関する打合せで、東京から昨日台湾へ帰ってきたばかりだと言いつ、オリンピックバッチを見せていたが、こちらからも土産を持って行ったので喜んでくれた。この気運を生かして、交流を進めれば、効果があるものと期待を大きく抱いた。

今回の企画には台湾の日本代表所が相談に乗って下さり、王次長をはじめ、多くの方々が連絡手配をして下さり成功を治めることが出来ました。感謝

大安区区長と会談



台北市大安区は台湾の中心街ある一番の大都会で、人口は二十三万人を擁しています。

大安区の区長は台北市が任命する区長で議会はありません。しかし行政府として、福祉教育建設や台湾は微役政なので募集の人事等も行っています。せぬまは林大安区長に、足立区の工業界のカタログ説明書を渡し、経済交流を促進すべく、要請を行いました。林区長も大変喜び是非共協力したいと固く握手を致しました。

帰国後近藤やよい区長にもその主旨を伝え、両区の交流により経済発展につながるよう要請しました。

高雄市議会訪問

本年七月七日国際フォーラム前の高雄市議会を訪れました。

足立区議員連盟 都足立区議員連盟 京好促進



終戦間近の台湾守備隊に米国はフィリピン攻略の前に、日本軍をたたくと大軍で攻撃してきた。敵機に対し、少数のゼロ戦が応戦したが空しく散っていった。杉浦氏は炎に包まれた機から脱出せず機を人家の無い所へ導き、神として祀られる。



台南 鎮安堂
杉浦少尉へ焼香

台湾の教育に命を捧げる

日清戦争により台湾はイラナイという中国に変わり日本が統治することとなったが、統治に反対する原住民がいた。日本政府は、この人々に教育を施す為、教育者を派遣し、学校も建てた。しかし理解しない原住民の手により日本人教育者六人が斬殺された。そのうちの一人は、吉田松陰のオイにあたる楢取道明である。



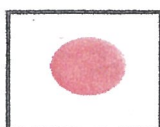
台北眠る六士先生
墓参焼香する

足立区政務活動事務所

090-4073-5145

せぬま 剛

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう

国旗販布・取付お申込はせぬま 剛へ

平成30年 5 月

助け合いは国民一人ひとりから

道にただ身をば捨てんと 思ひとれ
必ず天の助けあるべし

しまづ じっしんさい
島津日新齋

正しい事のために
命がけでのぞめば、
必ず天の助けがある。

足立区民 核を考える

核兵器なき世界のウソ

皆さん防災訓練に参加されていますか。会場でせぬまが核攻撃の話をする「ありもしない話をするな」と怒る人がいる。平和ボケ、核反対と言っている人は安全だと言いつける人達。永年日本は憲法のもと隣国を信じ、援助しこんなに日本が譲り続け、国税を提供し技術を教へても感謝せず、日本潰しを国是とする隣国が今も政権の主体なのだ。油断禁物！

核についての論議

日本も防衛上核について論議をと言った。中川昭一氏は袋叩きにあった。日本の存在の為にと語ることタブーの現状は正常か。

核の傘の日本

核の拡散は、この世の終わりを早める。しかし日本はアメリカの核の力で隣国の脅しに対抗する。人間の愚かさは果てしない、しかし現実とはそういうものだ。

拉致被害者救出へ

トランプ氏と面会、横田早紀江めぐみさんの不幸を訴えた横田さん。トランプは「判った、北朝鮮はひどい国だ」と言った。しかし翌日、韓国で元慰安婦を抱いた、どこまで判っているのか、とても信用出来ない。

足立区議連結成出来た

拉致問題を考える議員の会連盟議連せぬま会長に就任する、本会議場からせぬまが議員に拉致問題解決へ、政府を応援する会の設立を呼びかけ、議員連盟が今ごろ結成された。後追いの感はあるが、全力で被害者救出へ努力

中国対米取引の本音

北朝鮮を助けない

中国の高官が、北朝鮮を訪れている。国連も北朝鮮に配慮する、狂暴な金正恩を生かし、米国と対抗させて、その取引仲介役として利益を得ていく為、何としても北朝鮮を存続させておく必要がある。そして、中国自らは軍拡を進め、着実に日本侵攻を計画 중이다。

愛国心にアレルギー！

すぐ右翼と言う

歴史は残酷に、人間の欲望で領土問題を繰り返してきた。今も、それは変わらない。国を守る、領土を守る、これが愛国心だ。国を守る気概を持たぬ国家は全て滅亡した歴史だ。日本の教育は愛国心を教えない。教育界は今だ平和ボケだ、こころで日本人が自分で守ることを考えなくなってきたしまったが、国が亡くなった時、誰が責任とるのだ。

恩讐を超えて

日本を二度と米国に立ち向かえない国家にする為、全力でGHQは憲法 税制 教育を押し付けた、現実のソ連の冷戦でその間違いに気づいた、今しつかりと米国と連携する再重要

被爆国日本の報復

かつて米国は、日本の核が米国を狙うと恐れた。日本人の中に、核報復論者もいる。そんな空しい話は絶対にしてはいけない。核は使用しない、しかし考える時が来た。

区民生活政務調査依頼 足立区政でお気付の事、町の中の事、学校のこと
せぬま 剛へご意見をどうぞ、足立区へ提案します

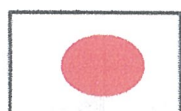
氏名 住所 ご記入の上

足立区政務活動事務所

携帯 090-4073-5145

せぬま 剛

足立区千住宮元町10-1



祝日には国旗を掲げよう
国旗販布・取付お申込はせぬま 剛へ

凍傷で両手両足を失った中村久子 不平を言わず、生き抜く、心の広さ

前号で「丁度良い」をお届けしました。しかしバブルに生きた私達は、あの金まみれの世が忘れられない。バブルを知らない若者達は、永く続く不況感だけの世を生きる。互いに不満が出る、もうからない、給料が安い、景気が悪い、内閣が悪い、政治が悪い、不平の大合唱が常日頃の声だ。何かに不安なので、そう言いたい、商売は命懸けで、失敗すれば、誰も助けてくれない。国は国民に少しでも安心を与えようと、借金を繰り返している。それさえも国は無責任と見えてくる。巨額の福祉予算、将来への教育予算、これは教育は切っても、福祉は増える。地方自治体足立区も同じという実情。

ちようど良いと言える自分になれるか

口では不満を言う方々も、まあまあ有難い世の中だと言う。分っちゃいるけど、地味に真面目に生きていると、自分勝手や、自分だけ良ければ良いという輩が、うまい汁を吸って、楽に良い暮らしをしている姿が見えてくる。つい不公平を言いたくなるのだろう。しかし彼らも見えぬ努力をしているし、法は全ての人に公平に施行する。そこで自分を見つめると、特別に欲を持たねば、まあまあ努力した分だけは、そこそこに、利益があるし、年金も真面目に納めてくれる人達のおかげで頂けるし、「有難い、有難い」と言う人達にも、多くお目にかかる。皆感謝して、生きていることを「おかげ様」と言っておく。政治に関わる者としては、更に無駄を省き、より効率的な運営をする使命を感じる場所である。日本の国に生まれた今に、共に生きる者同志、国の為に努力し合う為に。

尊敬され親われた人は不遇にあつても皆が応援している。

せぬま 剛

七十八番歌 源兼昌（百人一首の選者藤原定家のお気に入り歌人）

淡路島 通う千鳥の 鳴く声に いく夜寝覚めぬ 須磨の関守

悲劇の崇徳院の心を思う藤原定家が「源氏物語」の須磨を題材にした、源兼昌の歌を百人一首に採用したものです。光源氏が宮中での問題から都を離れ遠く須磨に引越し、千鳥の鳴く声で目覚めた朝は一人で寝ていても何やら頼もしいと詠んだのを兼昌は讃岐に流され、寂しく暮らす、崇徳天皇に同じように、千鳥の鳴く声で目を覚まされていることでしょうかと、心のうちを思い詠った歌です。

さきようにいぶあきすけ

七十九番歌 左京大夫頭輔（藤原頭輔という崇徳院を尊敬し思いやった人）

秋風に たなびく雲の たえ間より 漏れ出づる月の 影のさやけさ

藤原忠通の野望により失脚させられた崇徳天皇、忠通が院政で権力を持ち続ける為、まだ二才の近衛天皇を即位させ権力を握り続けますが、近衛天皇は病弱な方で十七才で没くなり、崇徳院の実弟後白川天皇が即位しますが、忠通としては兄弟二人が力を合せると自分に刃向ってくるだろうと、二人を離間させる為に「保元の乱」を起こし、崇徳院を讃岐へと流してしまつたのです、崇徳院を慕う頭輔は「秋風の雲の中に今はお隠れになつていられる崇徳院様も月の光のように、徳を照らしていられます」と慰めと共に励ましています。藤原定家の気持を代弁しているかのようにですね。

時の権力者は民を思わず自分本位では必ず身を亡ぼす

せぬま 剛